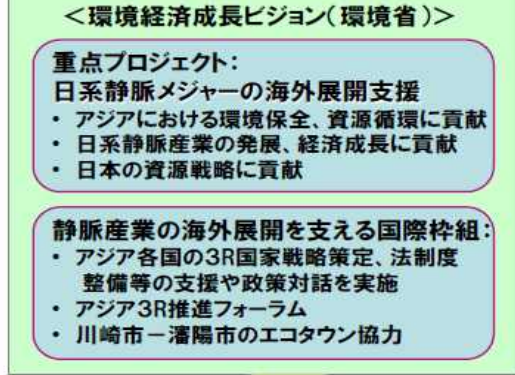


1. 背景

<リサイクル認証に関する国際動向>



<国内静脈産業の海外展開に関する動向>



アジア諸国での適正なリサイクルの確保

国内静脈産業の先端技術とアジア諸国のリサイクル制度とのギャップ

課題

3. 研究課題

基礎調査

課題1. アジア諸国におけるリサイクル認証制度等に関する実態把握

文献調査及び現地訪問調査等を通して、下記項目の実態把握を行う。

- 各国の家電リサイクル関連法の整備状況及びリサイクル認証制度に関する調査
- 優良リサイクル業者認定基準等の自主的取組に関する調査

課題2. リサイクル認証に関する国際動向の把握

欧米でのリサイクル関連認証制度に関する動向把握を行う。

- 欧州・米国での認証制度(Responsible Recycle, WEEELABEX, CENELEC等)の要求事項、基準等の整理
- リサイクル認証と関連制度との関係調査
- 上記の認証制度や標準規格の国際展開に関する動向調査

アジア諸国の実情

アジアへの応用可能性を抽出

リサイクル認証及び関連制度の検討

課題3. アジア地域大でのリサイクル認証制度導入可能性への検討

- リサイクル標準規格に関する要求項目及びその導入可能性に関する検討
- 運用段階での課題及び対応策の整理(パーセル条約等の国際政策プロセスにも考慮)
- 適正なリサイクル業者への循環資源の流入及びアジア諸国での適正な循環資源市場の確立のためのリサイクル認証と関連制度の組合せについて検討
- アジア3Rフォーラム、インターナショナル・パートナーシップ等への政策提言

2. 目的

① 適正な国際資源循環の確保

⇒アジア地域大でのリサイクル認証規格の構築

② 国内静脈産業の海外展開の促進

⇒関連制度との組合せによる適正な循環資源市場の確立

アジア諸国において、法制度化が進みつつある
廃電気・電子製品を事例とする。



4. アジア地域大のリサイクル認証のイメージ

